

生きものが田んぼに戻ってきたら、地域がイキイキしてきた!!

生きものを田んぼに戻す水田魚道の設置が、いろんな活動につながっています。



事例① 水田魚道をつけたら、地域みんなや子供達が集まってきた。

地域のつながりが希薄になってきていたので、水田魚道を設置し、田んぼに遡上する生きもの観察をしようと声をかけたところ、地域みんなが集まってきた、地域の交流の場となり、親交が深まりました。

愛知県安城市「榎前保全会」(農地・水・環境保全向上対策取組団体)



事例② 大事な生きものが田んぼで暮らせるように、水田魚道でえさ場を確保しています。

放鳥するトキのえさとなる生きものを育む田んぼを目指して、水田魚道の設置、冬も水田に水を張る冬季湛水、江(水田内の深み)を設置し、1年間を通して生きものが棲める水田環境の再生に取り組んでいます。

新潟県佐渡市「佐渡トキを守る会」



事例③ 生きものと一緒に暮らす農業を目指して水田魚道を設置、付加価値のある米づくりにもつながった。



地域の自慢の生きものが田んぼで生息できるように水田魚道などを設置し、生きものにやさしい無農薬栽培による米づくりをしています。できた米は『たかしま生きもの田んぼ米』としてブランド化し、通常の栽培方法でつくった米よりも高い価格で取引されています。

写真提供: (株)アミタ持続可能経済研究所

滋賀県高島市「たかしま有機農法研究会」

● 水田魚道を設置するためにはどうしたらいいの？

現在では、だれにでも設置できる魚道が開発されています。詳しくは「水田魚道づくりの指針」を参照してください。本書には、実際に現場での設置状況を映像で収録したDVDを巻末に添付しています。

- 初版印刷・初版発行: 平成22年3月
- 企画・制作: 社団法人 農村環境整備センター、ナマズのがっこう、メダカ里親の会
- 監修: 水谷正一(宇都宮大学 農学部教授)



※ 本指針は「農村自然再生活動高度化事業」(農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村環境課)により制作

● 水田魚道を設置する経費はどのくらい？

30,000円~80,000円程度/箇所
(農地・水・環境保全向上対策での購入も可能)

▶ 「水田魚道づくりの指針」をご希望の方へ

(社)農村環境整備センター(03-5645-3671)
までご連絡ください。